

<一般介護予防事業評価委員会>

地域づくりの観点から総合事業を検証し、評価及びその結果に基づき総合事業全体の改善を行う。

- ・平成29年度より開始した。総合事業の評価とフレイル予防事業の検討、試行を実施。平成29年度は全6回開催した。
- ・平成30年度 全3回開催し、総合事業の評価項目およびフレイル予防事業のチェック項目や実施方法等について検討、確定予定。
- ・平成31年度 全2～3回開催予定。

総合事業の評価指標を確定し、第8期「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」策定に向け、多様なサービスの構築について検討していく。

<平成30年度>

まとめと課題

●一般介護予防事業

(まとめ)

・事業全般について、概ね、目標値および目標値に近い成果が挙げられた。

・平成30年度新規事業であるTAMAフレイル予防プロジェクトは全市展開を実施、また、近所de元気アップトレーニングは目標値を上回る数の団体が生まれている。

(課題)

・TAMAフレイル予防プロジェクト等、一般介護予防事業の更なる周知

・地域リハビリテーション活動支援事業のリハビリテーション職派遣の拡大

●介護予防・生活支援サービス事業

(まとめ)

・地域介護予防教室等、地域資源との連動ができている

(課題)

・通所型短期集中予防サービス(元気塾)の稼働率の増加

・住民主体の訪問型サービスの取組みについて

利用者数、買い物同行、生活サポーター養成講座、事業の周知等。

・総合事業通所介護、総合事業訪問介護の適正なアセスメントによる利用

<平成31年度>

新規

・介護予防手帳の作成および配布

A5版40ページ オールカラー 配布部数は4000部を予定

・多摩市地域介護予防教室活動支援事業補助金の上限額の増額

・うんどう教室地域指導員の追加養成

(・東京都「自立支援・介護予防に向けた地域ケア会議体制構築支援モデル事業」に参加予定)

内容充実

・フレイル予防事業(TAMAフレイル予防プロジェクト:TFPP)

事業参加者へのメンバーズカードの作成および配布

・地域リハビリテーション活動支援事業

地域のリハビリテーション専門職との連携強化、派遣回数増加

継続

・現行事業の継続実施